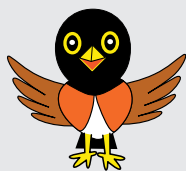


こっこめ通信 08 2004

「このまま暖かい海で・・・」号



八丈島ではアカコッコのことを親しみを込めて「こっこめ」とよびます。

今年の梅雨は、雨が少なく、雨を期待しているうちに梅雨明けしてしまいました。一部の地区で水の出が悪くなり、水不足を懸念していたところに「のろのろ台風」です。珍しく東からやって来たこの台風は、島の周りに居座り、暴風域にこそ入りませんでしたが、強風が吹き荒れました。そのため飛行機や船の欠航も続き、島から出られない人たちも多かったようです。今年も台風の季節がやってきてしまいましたね。

さて、今回は「ネイチャークラブによる樹名板の設置」「南方からやって来た生きものたち」のお話です。

ネイチャークラブによる樹名板の設置

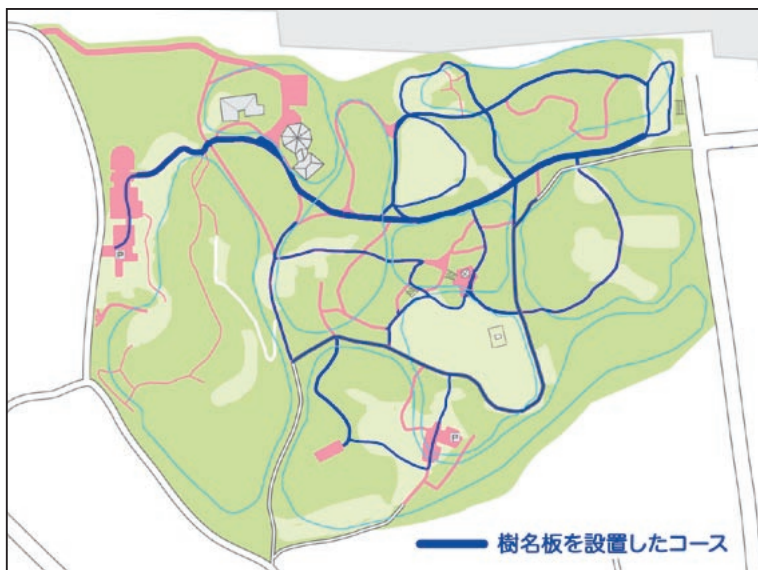


7月中旬、ビジターセンターボランティアのネイチャークラブの方々が植物公園の中の樹木に樹名板を取り付けてくれました。

今年の7月はとても暑く、大変な作業となりました(写真)。設置作業の前には樹木の選定や名前を調べるなど準備段階からネイチャークラブの頑張りがありました。

今回は下左図のコースの主要な樹木に計76枚を取り付けました。樹名板が足りなくなってしまう作業は中断してしまいましたが、これだけの数の樹名板が夏休み前に設置できたのは大きいと思います。

植物公園の散策にこの樹名板が利用されるとうれしいですね。



設置した樹名板

デイゴ	2	インドゴムノキ	5
カナリーヤシ	4	エノキ	3
ピロウ	1	ヘゴ	2
タコノキ	1	ハチジョウグワ	3
スダジイ	4	ケンチャヤシ	2
オオシマザクラ	1	ヤタイヤシ	1
モッコク	3	オキナヤシモドキ	5
イヌマキ	2	トックリラン	1
アロウカリア	2	ブーゲンビレア	4
タブノキ	4	ソウシジュ	2
ガジュマル	1	ブラッシノキ	2
モチノキ	4	ヤコウボク	1
ユスラヤシ	1	クロマツ	2
オオバヤシャブシ	4	ヤブツバキ	3
センダン	3	ハイビスカス	1
ウチワサボテン	1		
ヒサカキ	1	計	76

「アカコッコ」は日本固有のツグミ科の鳥で、国の天然記念物に指定されています。八丈島では一年を通して見られ、町の鳥にも選定されています。

南方からやって来た生きものたち

1991年から黒潮の大蛇行が起こっていないため、島の周りの海の水温は高い状態が続いています。水温の高い状態が続くことにより海の中の生き物も南方系の種が増えてきました。

一昨年にはマツバギンポ [*Mimoblennius atrocinctus*] やテングカワハギ [*Oxymonacanthus longirostris*] など、島では普段見ることのできない南方系の魚の記録が続きました。また、確認されても数個体であったマダラタルミ [*Macolor niger*] やヤリカタギ [*Chaetodon trifascialis*] の幼魚、ハナヒゲウツボ [*Rhinomuraena quaesita*] が何個体も確認されるなど海の変化が大きくなりました。

今年に入ってから、セアカコバンハゼ [*Gobiodon atrangulatus*] が旧八重根港でダイバーに確認されたのを始め、先日は潮だまりでモンツキカエルウオ [*Blenniella chrysospilos*] やイモガイヨコバサミ [*Clibanarius eurysternus*] を確認しました。



← マツバギンポ [*Mimoblennius atrocinctus*]

日本周辺では琉球列島以南や小笠原諸島に分布し、高知県や和歌山県でも確認されています。波の荒い岩礁域に棲み、2002年には乙千代ヶ浜やナズマドなどいろいろなポイントで確認されています。

イモガイヨコバサミ [*Clibanarius eurysternus*] →

紀伊半島以南の南日本からインド・西部太平洋に分布してます。イモガイ類を宿貝にしているため体が扁平です。

島では潮だまりで稀に見られる種です。



← モンツキカエルウオ [*Blenniella chrysospilos*]

琉球列島以南、西部太平洋の熱帯域に分布しています。サンゴ礁域の岩礁性の海岸や潮だまりなどで見られるようです。

八丈島では今回の記録が初めてのようで、大湊浦の潮だまりで確認しました。

先月号にも書いた通り気象庁は黒潮の大蛇行を予測しています。もし黒潮の大蛇行が起こり、島の周りの水温が一気に下がり、低水温が続いてしまうと、これら南方の生きものたちは生きていけなくなってしまうです。

せっかく島に流れ着き、大きく育ったのに残念です。でもこれは自然なことなのではないですね。

八丈植物公園季節調査会の報告

八丈ビジターセンターでは、毎月第二日曜日に、植物公園の生きもので季節を感じようという趣旨で、「八丈植物公園季節調査会」を開催しています。毎回見られる植物がどのように変化していくか、また、どんな鳥や植物が見られるかも観察しています。

八丈植物公園季節調査（平成 16 年第 7 回）平成 16 年 7 月 11 日（日） 13 時 30 分～15 時
参加者・永井、千野、菊池、荒井、近江、V.C. 菊池 合計 5 名

NO.	和名（島名）	状態	NO.	和名（島名）	状態
	草本		43	ヒエガエリ	実
1	メヒシバ	花と実	44	カヤツリグサ	花
2	オオアレチノギク	蕾、花、実	45	ヤクシソウ	花、咲き始め
3	コマツヨイグサ	花と実	46	イガガヤツリ	花
4	カモジグサ	実	47	オヒシバ	花
5	ヒナギキョウ	花	48	キツネノボタン	実
6	カタバミ	花	49	ウラジロチチコグサ	花
7	イヌガラシ	花と実	50	イヌホオズキ	花と実
8	ウスベニニガナ	花	51	タカサブロウ	花と実
9	ヘクソカズラ	花、盛り	52	オオイヌタデ?	花
10	ヤブガラシ	花	53	ハハコグサ	咲き残り
11	ヒメジョオン	花、咲き残り	54	エノコログサ	花
12	ギシギシ	花と実	55	コウゾリナ	花
13	ギョウギシバ	花	56	シロノセンダングサ	花と実
14	シマウチワドコロ	花	57	ノコンギク	花、咲き始め
15	ハチジョウアザミ	花	58	ノチドメ	花
16	ツルマオ	花	59	ミツバ	実
17	アオノクマタケラン	花と実	60	ハチジョウテンナンショウ	実
18	シマホタルブクロ	花	61	オムナグサ	花、咲き残り
19	トウバナ	花と実	62	シマスズメノヒエ	花と実
20	ヒメヒオオギズイセン	花	63	ママコノシリヌグイ	花
21	コセンダングサ	花と実	64	ハキダメギク	花
22	タケダグサ	花と実	65	ウリクサ	花
23	ラセイタソウ	花	66	ニワホコリ	実
24	トキワツクサ	咲き残り	67	コニシキソウ	花
25	ベニバナボロギク	花と実	68	マメグンバイナズナ	実
26	ツクシメナモミ	花		木本	
27	ヨツバハコベ	花	1	オオムラサキシキブ	花、盛り
28	セリ	実	2	モチノキ	実
29	イヌタデ	花	3	ホルトノキ	花
30	ヘビイチゴ	花	4	ハチジョウキブシ	実
31	タネツケバナ	花と実	5	アカメガシワ	花と実
32	オオバコ	実	6	イヌビワ	実
33	ニワゼキショウ	咲き残り	7	ガクアジサイ	花
34	コオニタビラコ	花	8	オオバヤシャブシ	実
35	ツメクサ	花と実	9	ヤブツバキ	実
36	コミカンソウ	実	10	ハゼノキ	実
37	オオニワゼキショウ	咲き残り	11	モッコク	花
38	ミコシガヤ	実	12	ヒサカキ	実
39	ヒメクグ	実	13	サカキカズラ	花
40	アゼナ	花	14	マンリョウ	花
41	タマガヤツリ	花	今回は 82 種の植物を観察しました。		
42	タチスズメノヒエ	花			

八丈島では、内地と少し様変わりした種や独自に進化した種など、聞き慣れない種があるのが特徴です。今回は、海の生きもの「ナメモンガラ」にスポットを当ててみたいと思います。



ナメモンガラ *Xanthichthys mento*

モンガラカワハギ科の魚。伊豆諸島や小笠原など島嶼で多く見られます。オスとメスで色が違い、オスは尾ビレが赤色、背ビレと臀ビレが黄色、メスはオスと反対で尾ビレが黄色、背ビレと臀ビレが赤色になります。

この時期、砂地で卵を守るオスの姿も見られます。

島では「トミ」と呼び、食用にもなります。

2004 八丈ビジターセンター プログラムカレンダー

8

日付の下に書かれている時間は、八丈島（神湊）の潮の満ち引きの時間です。左側が満潮時間、右側が干潮時間です。また日付の横は月の満ち欠けです。

日	月	火	水	木	金	土
 1 ガイドウォーク 特別行事 「潮だまり探検隊」 04:28 11:31 18:43 23:54	2	3	4	5	6	7 立秋 ガイドウォーク スライドショー 「クマノミの不思議」 09:23 03:19 21:10 14:47
 8 ガイドウォーク 特別行事 「三原山縦断トレッキング」 10:47 04:18 21:39 15:14	9	10	11	12	13	14 ガイドウォーク 特別行事 「夏の星空観望会」 02:34 09:39 17:07 22:22
15 ガイドウォーク 特別行事 「潮だまり探検隊」 10:51 04:01 23:15 17:53	 16 特別行事 「潮だまり探検隊」 04:39 11:24 18:15 23:42	17	18	19	20	21 ガイドウォーク 08:06 01:57 20:10 14:02
22 ガイドウォーク クラフト教室 「火山灰アート」 09:04 02:41 20:34 14:34	 23 10:28 03:36 21:02 15:09	24	25	26	27	28 ガイドウォーク 八文学講座 「川の生き物観察会」 02:43 09:53 17:11 22:29
29 ガイドウォーク クラフト教室 「竹ビーズで作ろう」 03:43 10:37 17:39 23:03	 30 04:34 11:16 18:04 23:36	31			 この色の日は 特別行事があります	

イベントプログラム

夏休み特別講座 「潮だまり探検隊」	潮だまりで見られる生き物を採集して観察しましょう！ 8/1 と 8/16 (10:00～ 約2時間) 小学生と保護者 現地集合・解散 (当日決定) 参加費：100円 定員：10名
スライドショー 「クマノミの不思議」	島でダイビングサービスを営む加藤昌一さんによるクマノミのスライドショー 8/7 (19:30～ 約1時間半) だれでも ビジターセンター集合・解散 無料 定員：60名
夏休み特別講座 「三原山縦断トレッキング」	無線中継所から山頂を通り、三原林道を三根方面に下りてきます。 8/8 (9:00～ 約6時間) 小学生以上 (低学年は保護者同伴) ビジターセンター集合・解散 参加費：500円 定員：20名 雨天中止
夏休み特別講座 「夏の星空観望会」	ペルセウス座流星群や夏の大三角形などいろいろな星を探しましょう！ 8/13 (19:30～ 約1時間半) 小学生以上 (低学年は保護者同伴) ビジターセンター集合・解散 参加費：100円 定員：20名
夏休み特別講座 「クラフト教室」	8/22 (13:30～ 約1時間半) 「火山灰アート」 8/29 (13:30～ 約1時間半) 「竹ビーズで作ろう」 小学生 ビジターセンター集合・解散 無料 定員：10名
八文学講座 「川の生き物観察会」	毎月行っている八文学講座。今月は鴨川で川の生き物を観察します。 8/28 (13:30～ 約1時間半) 中学生以上 ホタル水路集合・解散 参加費：100円 定員：15名

ビデオプログラム

10:00～	八丈・海・生きものたち
11:00～	おじゃりやれ 八丈島
14:00～	おじゃりやれ 八丈島
15:00～	おじゃりやれ 八丈島
16:00～	八丈・海・生きものたち
上記以外での上映は予約にて可能です	

東京都八丈ビジターセンター 2004.8.1 第39号

開館時間 9:00～16:45 年中無休 (入場無料)
〒100-1401
東京都八丈島八丈町大賀郷2843
電話：04996-2-4811 Fax：04996-2-4888

(ホームページでは「こっこめ通信」をカラーで見ることができます)

編集後記

黒潮ブルーの海が続き、海の生きものたちも南方のものが増えてきました。このまま高い水温が続いてくれるとうれしいのですが、やはりそうはいきませんね。自然というものは上手くてきます。人も自然に生きるべきなのでは・・・。(高)